

活動報告（9月レポート）

担当：農村整備課

表題：久留女木棚田で草刈りを行いました【一社一村しずおか運動】

日時：令和5年9月9日（土）

場所：静岡県浜松市



（久留女木棚田）



（参加者集合写真）

9月9日（土）、令和4年に「つなぐ棚田遺産」に認定された久留女木棚田（浜松市北区引佐町）で、草刈りが行われました。

久留女木棚田では、地元耕作者と外部耕作者を事務局として、企業・大学・観光協会等からなる久留女木地域振興協議会を設立し、多様な主体がそれぞれの得意分野を生かしながら、棚田の保全や地域のファン（関係人口）を増やすイベントや広報を行っています。

今回は、当協議会メンバーで一社一村しずおか運動の協定を結んでいる不二総合コンサルタント株式会社から23名、静岡文化芸術大学「引佐耕作隊」から4名が参加し、事務局9名と共に棚田の畦や耕作放棄地の草刈りを行いました。参加者は、周囲に気を付けながら、手慣れた様子で草刈り機を使っていました。

今後は、10月21日（土）に参加者を募って稲刈り体験会を開催する予定です。また、5月14日に地元アパレル企業HUIS（ハウス）と種まきをした綿花の花が咲き、収穫が待ち遠しい頃合いとなっています。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。